

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 7 月 5 日 (2012.7.5)

【公開番号】特開 2011-94057 (P2011-94057A)

【公開日】平成 23 年 5 月 12 日 (2011.5.12)

【年通号数】公開・登録公報 2011-019

【出願番号】特願 2009-250438 (P2009-250438)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 5 月 18 日 (2012.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材および粘着剤層を有する粘着シートと、前記粘着剤層上に配置された剥離ライナーと、を備える剥離ライナー付き粘着シートであって、

前記基材は、少なくともウレタンポリマーを含有する複合フィルムからなり、

前記剥離ライナーは、前記粘着剤層側の表面を構成する A 層と該 A 層を支持する B 層とを少なくとも含む積層体であり、かつ、 $25 \sim 40$ の間における平均線膨張係数が $7 \times 10^{-5} /$ 以下であり、前記粘着シートは、全光線透過率が 80 % 以上であることを特徴とする剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項 2】

前記剥離ライナーを構成する前記 A 層は、リン系酸化防止剤を含まないか、あるいは、該リン系酸化防止剤の含有割合が 0.01 質量 % 以下のポリオレフィン系樹脂組成物により形成されており、前記粘着剤層側表面は、該表面を横切って延びる高さ $5 \mu\text{m} \sim 50 \mu\text{m}$ の複数の畝によって複数の部分領域に仕切られており、それらの部分領域のうち少なくとも一部は該領域の内接円が直径 $500 \mu\text{m}$ を超えるサイズであることを特徴とする請求項 1 に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項 3】

前記剥離ライナーの少なくとも前記粘着剤層側の表面は、白金触媒を含有する付加硬化タイプのシリコン系剥離剤によって剥離処理されていることを特徴とする請求項 1 から 2 のいずれか 1 項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項 4】

前記複数の畝は、互いに平行に延びる第一の畝群と、該第一の畝群と交差して互いに平行に延びる第二の畝群とを包含し、

前記第一の畝群および前記第二の畝群は、いずれも、隣り合う畝の基部間の距離が $500 \mu\text{m}$ を超えるピッチで形成されていることを特徴とする請求項 2 から 3 のいずれか 1 項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項 5】

前記畝の基部の幅が $15 \mu\text{m}$ 以上、 $200 \mu\text{m}$ 以下の範囲であることを特徴とする請求

項 2 から 4 のいずれか 1 項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項 6】

前記 B 層は紙製であることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項 7】

前記 B 層はポリエチレンテレフタレート系樹脂製であることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項 8】

前記 A 層は、前記 B 層の少なくとも一方の表面に前記ポリオレフィン系樹脂組成物からなる層をラミネートしてなることを特徴とする請求項 2 から 7 のいずれか一項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。